

指導者 松本 百花 (T1)

保田 典子 (T2)

主題について

ねらいとする価値

思いやりとは、相手の気持ちや立場を自分のことに置き換えて推し量り、相手に対してよかれと思う気持ちを相手に向けることである。自分のことばかりを考えたり、自分の思いだけを主張したりしては望ましい人間関係を構築することはできないため、相手に対する思いやりの心を育てることが一層重要になる。

ここでは、相手の置かれている状況などを自分のこととして想像することによって相手のことを考え、親切な行為を自ら進んで行うことができるようにしていこうとする心情を育てることをねらいとする。

児童の実態

- ① 児童は「個性の伸長」の内容項目で、人にはそれぞれのよさがあり、自分や友達のよさを知り、それらを伸ばしていくことの大切さについて学習し、互いのよさを伝え合うことができた。
- ② 本学級では、人にやさしくすることができる児童が多くいる。しかし、自分のことばかりを考えている児童も多く、自分の発言や行動が相手にどのように届いているかを想像することができていない。
- ③ 道徳科の時間では、自分の考えを積極的に発表することができる児童がいる一方で、自分の考えはもちながらも、発表することなく、友達の考えを聞くことに終始している児童もいる。

教材について

掃除時間に主人公が一人で重いバケツを運んで困っていた際、それに気付いた6年生と一緒にバケツを持って運んでくれる。その経験を基に主人公は「やさしい人大さくせん」を考え、困っている人のお手伝いをしようとする気持ちを持ち、実践しようとする話である。主人公の言動や気持ちを捉えさせることを通して、思いやりの心について考えることができる。

考え、議論する道徳科の時間を充実させるために

○ 道徳的価値を捉え、自己の生き方を深める発問の工夫

導入では、それぞれが思う「思いやりの心」について話し合い、ねらいとする価値への方向付けを行う。

展開前段では、まず、重いバケツを一人で運んで困っている「わたし」の気持ちに共感させ、助けられたときの気持ちを考えさせる。その経験を基に「やさしい人大さくせん」を考え「わたし」が声をかけられなかったときの気持ちを考えさせる。中心発問では、「やさしい人大さくせん」が成功し、6年生に「ありがとう。助かったわ。」と言われたときの主人公の心情について考えさせることで、ねらいとする価値に迫りたい。その際、ワークシートの活用やペアトークの場を設定することで、児童が自分の考えを明確にもち、友達の考えと比較しながら多様な考えに触れることができるようにしたい。

展開後段では、「思いやりの心をもつことのよさ」について考えさせ、相手の気持ちを自分のこととして想像することによって、よりよい人間関係を築いていくことに繋がることに気付かせたい。また、学級の実態について考えを深めることができるように、これまでの児童の実態から、お互いのことを思いやっていたかを考えさせ、さらによりよいクラスにするためにはどうすればよいかを考えさせたい。

○ 総合的な学習の時間や特別活動と道徳科の授業を関連させ、体験活動を生かした道徳科学習プログラムの作成

児童は、活動範囲が広がり、社会性や好奇心が高まるこの時期で、身近な人だけでなく、誰に対しても相手の立場を思いやり、親切にする心を育てていくことが大切である。総合的な学習の時間の「ふしぎ発見!海田町」の学習では、ガイドツアーを通して校区の「よさ」について情報を集め、プレゼンテーションに向けてグループの友達と協力しながら活動を行う。それらを通して、お互いに理解し合って自分と異なる意見も大切にしようという心情を育てていきたい。

また、帰りの会の「チョボラ」において、友達のよさや優しさについてクラスみんなに発表することにより、互いの思いやりや優しさに気付き、相手のことを考えたよりよい行動をしていきたいという心情を育てていきたい。

本時の学習

(1) 本時のねらい

困っている人の気持ちを考え、優しい思いやりの心で接しようとする心情を育てる。

(2) 本時の学習展開

過程	学習活動 ○主な発問 ●中心発問 ・予想される児童の心の動き	◇指導上の留意事項 □道徳科学習プログラムとの関連 □発問の工夫 ＊評価
導入	1 「思いやりの心」について話し合い、本時の学習テーマを捉える。 ○みんなが思う「思いやりの心」とは、どのようなことですか。 ・相手の気持ちを考えること ・困っている人を助けようとする事	◇思いやりについてイメージを膨らませることで、本時のねらいとする価値への方向付けを行う。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">思いやりの心をもつことのよさ</div>		
展開前段	2 教材「やさしい人大さくせん」を読んで考える。 ○重かったバケツが一気に軽くなったとき、「わたし」はどんなことを思ったでしょう。 ・助かった。 ・やさしい人だな。 ・人にやさしくできる人っていいな。 ○重そうな物を持った人に声をかけられなかったときの「わたし」の気持ちは、どうだったでしょう。 ・声をかけられなくて悔しい。 ・恥ずかしくて声をかけられなかったな。 ・私にはできないのかな。 ・次は声をかけよう。	◇登場人物の状況を確認し、「わたし」の心情に寄り添って考えられるようにする。 ◇心情円盤で気持ちを表現させ、その理由を問う。 ◇重いバケツを一人で運んで困っている「わたし」の気持ちに共感させ、助けられたときの気持ちをおさえる。 ◇心情円盤で気持ちを表現させ、その理由を問う。 ◇声をかけられず落ち込む気持ち、次は頑張ろうとする前向きな気持ちなど、多様に考えられるようにする。 ◇自分の経験を基に声をかけられなかった「わたし」の気持ちを、共感的に捉えられるようにする。 ◇最初の場面で自分が助けられた時に嬉しかったことから、「助けてい」という気持ちになったことを児童から引き出す。

	<p>学習活動 ○主な発問 ●中心発問 ・予想される児童の心の動き</p>	<p>◇指導上の留意事項 □道徳科学習プログラムとの関連 □発問の工夫 *評価</p>
	<p>●6年生に「ありがとう。助かったわ。」と言われたとき、「わたし」はどんな気持ちになったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「やさしい人大さくせん」が成功してうれしい。 ・6年生が喜んでくれたからうれしい。 ・お手伝いするとこっちまで気持ちがいい。 ・また困っている人がいたら助けたい。 ・これからも「やさしい人大さくせん」を続けたい。 <p>○「思いやりの心をもつことのよさ」には、どのようなことがありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなが気持ちよく過ごすことができる。 ・みんなが仲よくできる。 ・笑顔になれる。 	<div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>□発問の工夫（共感的な発問）</p> <p>「やさしい人大さくせん」が成功して、お礼を言われたときの「わたし」の気持ちを考えることを通して、助けられた人だけではなく、お互いが気持ちがよくなることに気付かせたい。</p> </div> <p>◇おぼんや食器を返す人が一度に大勢来て、6年生が大変そうにしていることをおさえる。</p> <p>◇児童の考えを共感的に聞き、多様な考えが出るようにする。</p> <p>◇ワークシートに書く活動に取り組みさせた後、ペアで自分の思いを交流させる。学級全体で話し合い多様な考えに触れさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6年生や周りの人が笑顔になったのはどうしてでしょう。 (補助発問：分析的) ・これからは、この作せんがどんどんできそうと思ったのはどうしてでしょう。 (補助発問：分析的) <p>◇めあてについて問うことで道徳的価値を深めさせる。</p> <p>*困っている人の気持ちを考え、助けたわたしの行動や心情を捉えることを通して、相手を思いやる心について考えている。 (発言・ワークシート)</p>

	<p>学習活動 ○主な発問 ●中心発問 ・予想される児童の心の動き</p>	<p>◇指導上の留意事項 □道徳科学習プログラムとの関連 □発問の工夫 *評価</p>
<p>展 開 後 段</p>	<p>3 自分たちのことについて考える。 ○帰りの会の「チョボラ」を思い出して、このクラスにはどのような思いやりの心があると思いますか。 ・勉強を教えてあげていた。 ・ほうきのごみの取り方をやさしく教えてあげていた。</p>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>□道徳科学習プログラムとの関連</p> <p>帰りの会の「チョボラ」の内容から、日々の生活の中にたくさんの思いやりの心があることに気付かせ、行動の価値付けをしていくことで、次への意欲につなげていく。</p> </div> <p>◇写真を見せて実感させる。 ◇やさしくされてどのような気持ちになったかを聞き、それを聞いてやさしくした方はどのような気持ちになったかを聞くことを通して、お互いの気持ちがよくなっていることを確認する。</p>
<p>終 末</p>	<p>4 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習の振り返りを書きましょう。</p>	<p>◇「始めの自分の考えと今の自分の考えを比べてみよう。」「今日分かったことやなるほどと思ったことはありますか。」を振り返りの視点として提示する。</p>

(4) 板書計画

11/20
(金3)

やさしい人大きくせん

テーマ 思いやりの心をもつことのため

・相手の気持ちを考えること
・困っている人を助けよう
とすること

「おもたあい。」

ざっと手を出して、バケツをもつてくれた



心情円盤

・助かった。
・やさしい人だな。
・人にやさしくできるといいな。

やさしい人大きくせん

おもそうなものをもった人

声をかけられなかった。

・はずかしくて…
・私にはできないのかな。
・次は声をかけよう。

心情円盤



たいへんそうな6年生

「お手つだいします。」

「ありがとう。助かったわ。」

・「やさしい人大きくせん」が成功してうれ
しい。
・6年生が喜んでくれたからうれしい。
・お手伝いするところまで気持ちがいい。
・また困っている人がいたら助きたい。
・これからも続けたい。



心情円盤



思いやりの心をもつことのため

・みんなが気持ちよく過ごさることができる。
・みんなが仲よくできる。
・笑顔になれる。

すみを落とすときにいっしょにふいてくれた。
席をさがしている人に「ここ空いてるよ」